



日日新

常に新しく、新鮮な気持ちで

令和4年4月1日付の人事異動で、教育委員会事務局青少年教育課学校図書支援係より、エリアマネージャーとして赴任しました永田浩史(ながたひろし)です。よろしくお願いいたします。

この高丘地域には、1990(平成2)年4月から6年間、1999(平成11)年から1年間、高丘中学校に国語科の教員として勤務していました。部活動は女子バスケットボール部の顧問。1995(平成7)年の阪神淡路大震災の時には中3の担任をしていました。自宅(舞子)周辺は震災後、ひと月経ってもガスが復旧せず、お風呂に入ることができなかったので、思い余って坊主頭にしたことを覚えています。今はその必要もありませんが…。

タイトルの「日日新」という文字について。これは中国の四書のうち「大学」という儒教の経書にある言葉です。

中国古代の殷、名君湯王(とうおう)が毎日使う手水(ちょうず)の盥(たらい)の底にこの言葉を刻んで、毎朝顔を洗うたびに自分の戒めとしたという伝説があります。毎日毎日を新しい一日として迎え、その一日を意味あるものにして刷新、進歩していくことが大切だということでしょう。

以前、勤務していた江井島中学校の正門にこの文字が刻まれた石碑があります。以来、この言葉「日日新」を心に刻んで、毎日新鮮な気持ちで過ごせたらいいなと思っています。

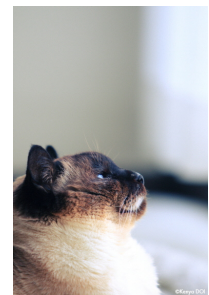
新

シン、あたらしい、あらた、にい

木と斤(オノ)と音を表す辛(シン)から成り、おのて木を切りそろえる意味。借りてあたらしいの意味に用いる。



▲日日新の石碑(江井島中)



▲ブッチ

編集後記 ◆まずは、自己紹介から◆

- ・1960(昭和35)年生まれ、今年62歳になります
- ・出身は広島県北部の東城町(かつては比婆郡)という田舎。
- ・雪が多い、盆地です。小学生の頃は毎週スキー。当時の国鉄には蒸気機関車が走っていましたよ。
- ・大学卒業後に尼崎市の中学校へ赴任、6年後に高丘中学校へ異動。
- ・震災の次の年にスイス チューリッヒ日本人学校へ赴任(3年間)。
- ・帰国後、高丘中、朝霧中、文化博物館、市教委、江井島中、錦城中で定年退職。
- ・趣味は登山、俳句、ねこ、日本酒など。これから皆さんとコミュニケーションを少しずつ深めながら仕事を進めていきましょう。



▲常念岳～蝶が岳縦走